

令和6年6月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和6年6月 10 日(月)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発 表 内 容

- 1 佐渡市一般会計補正予算（6月補正）について ……＜財政課＞
- 2 佐渡版ライドシェアの実証調査事業について……＜交通政策課＞
- 3 令和6年度新たに住民税非課税世帯等となる世帯への給付金および
定額減税補足給付金について ……＜社会福祉課、税務課＞
- 4 新潟県令和6年能登半島地震災害義援金の配分について ……＜社会福祉課＞
- 5 佐渡市独自のSDGs 18番目の目標～佐渡の歴史・文化を未来へ～を
あらわすオリジナルアイコンの公募について ……＜総合政策課＞
- 6 佐渡市ふるさと納税公式インスタグラム開設について…＜総合政策課＞
- 7 佐渡市役所窓口対応向上プロジェクトについて ……＜総務課＞

【事前質問】

- ロングライドを走った感想、また、運営面で気付いたことについて聞かせてください。
(観光振興課)
- 宿泊税について、改めて検討状況やスケジュール感を示してください。(観光振興課)
- 小木町が重伝建に選定されますが、今後の市としての取組み方針を示してください。
(世界遺産推進課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R6. 6. 10)

1 佐渡市一般会計補正予算（6月補正）について

【配布資料あり】

<概要>

■第2号補正

補正額：212万7千円を追加

予算総額：485億1千230万7千円

【補正予算の主な内容】

- ① この夏の児童生徒の通学時の熱中症対策として、遠距離通学の対象となる児童生徒にバス定期券の交付などの通学支援を行うための経費を計上
- ・遠距離通学支援事業 212万7千円

■第3号補正

補正額：1億499万4千円を追加

予算総額：486億1千730万1千円

【補正予算の主な内容】

- ① 「佐渡島の金山」の世界遺産登録決定を契機として、佐渡を訪れていただける方の受入態勢の拡充と、情報発信への取組みとして世界遺産登録記念事業の経費を追加計上
- 登録決定を市民の皆様や関係者で祝賀し、喜びの声を発信する世界遺産登録「金の道」リレー祝賀事業の経費を計上
 - ・世界遺産登録「金の道」リレー祝賀事業（世界遺産登録記念事業）193万8千円
 - 登録決定により増加が見込まれる観光客をターゲットとして、レンタサイクル料金の割引や乗船券付体験商品を購入される方にクーポンの付与を行うことで、体験を通じて佐渡の魅力に触れていただくキャンペーンを展開する経費を計上
 - ・世界遺産登録記念歴史・文化・自然体験キャンペーン事業 1千145万5千円
 - 登録決定を契機としたインバウンド拡大に向けた県内市町村との連携一環として県内文化をPRするため、小千谷市から寄贈いただく黄金の錦鯉とプラチナの錦鯉を市役所ときらりうむ佐渡に展示する経費を計上
 - ・世界遺産登録記念県内連携事業（世界遺産登録記念事業） 460万7千円

- ② 繁忙期におけるタクシー不足に対応するため、自家用車を有する一般ドライバーを活用した、自家用有償旅客運送の実証調査を実施する経費を計上
- ・タクシー自家用有償旅客運送実証調査事業（新モビリティサービス推進事業） 434 万円
- ③ 10 月 21 日にアミューズメント佐渡で鬼太鼓をテーマとした日本フィルハーモニー交響楽団の公演を予定しており、公演の共催に伴う経費を計上
- ・固有の文化と連携したコンサート運営事業 440 万円
- ④ 中国からのインバウンド拡大を見据えて、昨年度から交流が始まっている中国塩城市からの訪問団を受入れ、交流することで佐渡の魅力を発信するための経費を計上
- ・中国塩城市交流事業（国際交流事業） 192 万 1 千円
- ⑤ 能登半島地震により半壊以上と判定された被災家屋を解体する経費を計上
- ・災害等廃棄物処理事業 6 千 212 万 3 千円

2 佐渡版ライドシェアの実証調査事業について

【配布資料あり】

<概要>

- 7 月末から約 1 か月間、一般ドライバーが自家用車を用いて旅客を有償で運ぶ「佐渡版ライドシェア」の実証調査事業を計画しています。
- 市内のタクシーは 6 事業者・約 50 台で、観光シーズンにはタクシーが不足する状況が発生しています。また、世界遺産登録による観光客の増加が想定されています。
- 佐渡市が実施主体となり、タクシー事業者に業務委託する自家用有償旅客運送制度による実証調査事業を行い、得られたデータをもとに検証を行います。
- 市議会 6 月補正予算の議決後、タクシー事業者と一般ドライバーの契約や、自家用有償旅客運送事業の国への登録を経て実施する予定です。
- 「自治体版ライドシェア」としては、新潟県内において初めての実施となります。

3 令和6年度新たに住民税非課税世帯等となる世帯への給付金および定額減税補足給付金について

<概要>

① 令和6年度新たに住民税非課税世帯等となる世帯への給付金

- 対象は6月3日に市内に住民登録があり、令和6年度において新たに住民税非課税となる世帯と、新たに住民税均等割のみ課税となる世帯です。
- 1世帯あたり10万円を給付します。
- 対象世帯には、確認書または申請書を7月上旬頃に発送し、8月に給付を開始する予定で準備をすすめています。
- 確認書等が届きましたら、10月末日までに提出をお願いします。
- また、それらの対象世帯のうち、18歳以下の児童がいる世帯に対しては、児童ひとりあたり5万円を追加給付します。

② 定額減税補足給付金

- 令和6年度税制改正により、令和6年分の所得税と令和6年度分の個人住民税所得割において定額減税を行います。
- 定額減税は、所得税で3万円、個人住民税で1万円を、本人と扶養親族の人数に応じて減税しますが、定額減税の総額がそれぞれの課税額を上回るなど、減税しきれない額については、調整給付金として給付します。
- 給付対象の方には、8月下旬頃を目途にお知らせを送付する準備を進めています。お手元に届きましたら、記載内容を確認して、10月末日までに提出をお願いします。
- 給付開始は、9月中旬頃からの給付を予定しています。

4 新潟県令和6年能登半島地震災害義援金の配分について

<概要>

- 令和6年能登半島地震により被災された方に対して、全国の皆様から寄せられた災害義援金を、県及び市の災害義援金配分委員会において決定した基準により配分します。
- 義援金の配分対象となる方には、市からご案内ならびに申請書をお送りします。必要事項をご記入の上、各支所、行政サービスセンター、または本庁社会福祉課へ提出をお願いします。
- 申請期限は、12月27日までです。

※ 佐渡市配分金 2,615万円

5 佐渡市独自のSDGs 18 番目の目標～佐渡の歴史・文化を未来へ～を あらわすオリジナルアイコンの公募について

<概要>

- 先人から受け継いできた歴史・文化を次世代へ継承していく取組みを佐渡独自のSDGs 18 番目のゴールと定め、市民の皆様とともに、佐渡の歴史・文化の継承に力を合わせて取り組んでいます。
- 取組みのシンボルとして「佐渡市独自のSDGs 18 番目の目標～佐渡の歴史・文化を未来へ～をあらわすオリジナルアイコン」のデザインについて5月24日から募集を開始し、6月21日まで受け付けています。
- アイコンのデザインは、佐渡市の公式LINEを通して、市民の皆様の投票により決定します。
- オリジナルアイコンは、市のホームページや広報など、各種媒体で活用する他、市民や事業者の皆様にも積極的に活用していただきたいと考えております。

6 佐渡市ふるさと納税公式Instagram開設について

<概要>

- 個人版ふるさと納税8億円に向けた新たな取組みとして、5月31日に佐渡市ふるさと納税公式Instagramアカウントを開設しました。
- 北海道別海町では、返礼品のおすすめの食べ方や調理レシピなどをInstagramで発信することにより、ふるさと納税の受入額を大幅に伸ばしています。これらの取組みを参考に情報発信するほか、時季にあわせた旬の情報や、ふるさと納税で利用できる観光施設、宿泊施設など、佐渡の魅力を発信してまいります。
- 佐渡市公式Instagramと連携した情報発信により、佐渡市や特産品等の魅力を感じていただき、ふるさと納税のみならず、佐渡ファンの獲得に取り組んでまいります。

7 佐渡市役所窓口対応向上プロジェクトについて

<概要>

- 5月15日に立ち上げました「市役所改革プロジェクトチーム」の変革への挑戦の取り組み、第一弾として「佐渡市役所窓口対応向上プロジェクト」を実施します。
- 笑顔、親切丁寧、スピード感、お客様目線を大切に、おもてなしの気持ちを第一に対応できる組織を目指して、7月からスタートします。
- 皆様が佐渡市役所の窓口における接遇をどのように受け止め、感じているのか、窓口やSNS等で市民アンケートを実施します。
- 集計結果から、現状分析、課題の抽出、改善策の検討、外部講師による研修と接遇チェックを繰り返して、皆様から満足いただける窓口対応への変革を図ってまいります。
- 窓口をご利用いただきました皆様の満足度のさらなる向上を図り、市民の皆様に信頼される市役所を目指してまいります。